

# 浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画（概要版）

## 1. 計画の基本的事項

浜松駅周辺の市営自転車・バイク駐車場（以下「自転車等駐車場」という。）の適正な利用を誘導し、安心して快適に利用できる駐車場の実現のため、「浜松駅周辺自転車等駐車場再整備計画」を策定します。

## 2. 浜松駅周辺の自転車等駐車場を取り巻く状況

- 自転車等駐車場の利用目的は、通勤・通学（週5日、18時間以下/1日）が約8割を占めます。
- 浜松駅周辺の放置自転車等は、2009年度には約2,380台ありましたが、放置自転車等を撤去するとともに、一定規模の集客施設における駐車場設置の指導や駐車場内の整理、駐車マナーの啓発活動を継続して行ってきた結果、2019年度には約1,750台まで減少する等、一定の効果を上げてきました。しかし、依然として放置自転車等は残っており、特に、駐車場内へ放置された自転車の撤去に係る課題が顕在化しています。
- 新型コロナウイルス感染症の影響により駐車場利用が減少するなかでも、自転車駐車場の収容能力は不足する状況が続いています。そのため、駐車場内は、煩雑に置かれた自転車で混雑しており、駐車が困難な自転車が周辺路上に放置される等、駐車場の適正利用に支障が生じており、需要に合った収容台数の拡大が求められています。
- 現状の駐車場は、誰でも、無料で、自由に利用できる一方、各駐車場の利用の偏りや駐車場内の放置自転車、利用頻度が低い長期間の占有が利用者の妨げとなっているとともに、盗難の課題が顕在化しているため、自転車等駐車場の適正な利用を誘導するとともに安心して快適に利用できる駐車場が求められています。

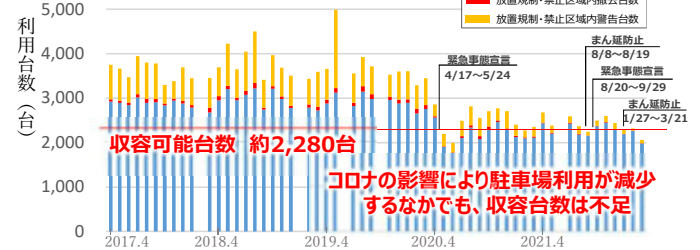


《浜松駅から駐車場へ向かう状況》

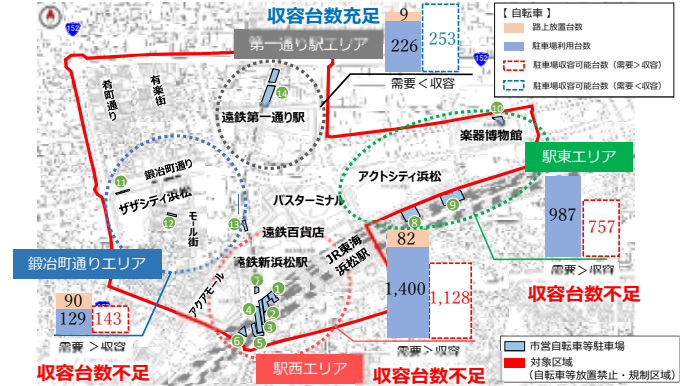


《駐車場内へ煩雑に置かれた自転車》

### ■自転車の駐車に対する需要の推移



### ■自転車等駐車場の位置・収容台数の不足状況 【2021年度本市調査結果】



### 《現状の問題点》

- 利用頻度が低い自転車が長期間占有している（駐車場内の放置自転車含む）
- 各駐車場の利用に偏りが生じている
- 盗難が発生している
- 路上の放置自転車が発生している
- 煩雑に置かれた自転車で駐車場内が混雑している

### 《原因》

- ◎誰でも、無料で、自由に利用（出入り）が可能
- ◎自転車駐車場の収容台数が不足している
- ◎駐車場利用マナーの不徹底

### 《対応方針》

- ・適正な利用の誘導
- ・盗難防止の強化
- 需要に合った自転車収容台数の確保
- マナー向上の推進

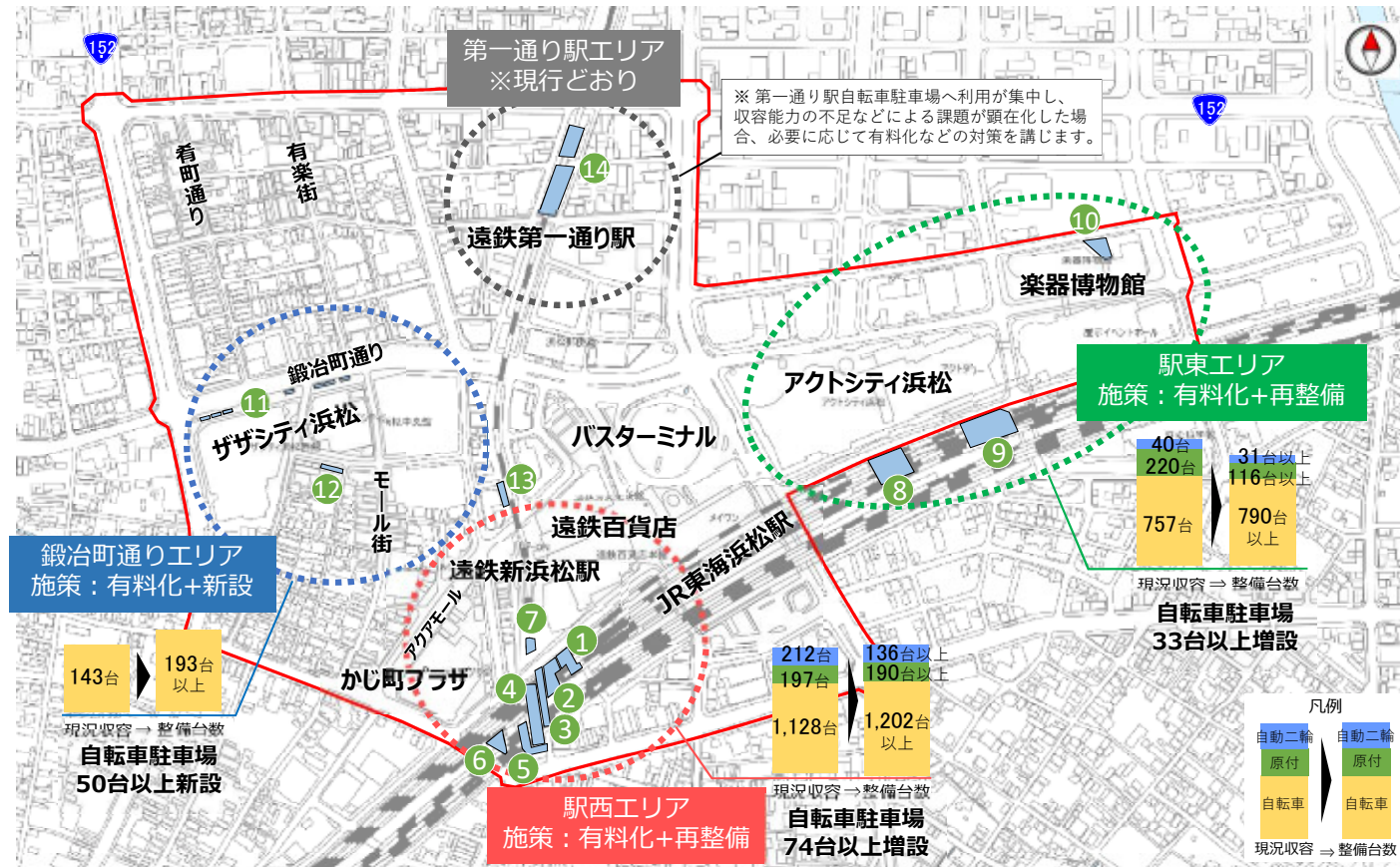
### 《具体的な施策》

- 方策①：有料化による適正な利用の誘導と盗難防止の強化
- 方策②：自転車収容台数の拡大
- 方策③：マナー啓発活動の推進

安心して快適に利用できる駐車場

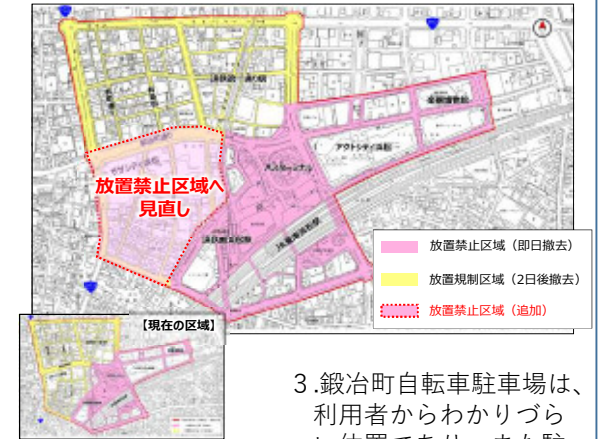
番号	名称	供用開始年	収容可能台数(台)		
			自転車	バイク	
			原付	自動二輪	
①	浜松駅西自動二輪車駐車場	2008年	-	-	70
②	浜松駅自転車等駐車場	1980年	386	40	-
③	浜松駅西原付駐車場	2012年	-	75	-
④	浜松駅西自転車等駐車場	1984年	642	82	-
⑤	八幡橋東自動二輪車駐車場	2004年	-	-	97
⑥	八幡橋西自動二輪車駐車場	2005年	-	-	45
⑦	新浜松駅南自転車駐車場	2016年	100	-	-
⑧	浜松駅東自転車駐車場	1981年	586	-	-
⑨	浜松駅東第二自転車等駐車場	2000年	171	220	-
⑩	楽器博物館東自動二輪車駐車場	2016年	-	-	40
⑪	ザザシティ前自転車駐車場	2005年	100	-	-
⑫	ザザシティ南自転車駐車場	2009年	33	-	-
⑬	鍛冶町自転車駐車場	1993年	10	-	-
⑭	第一通り駅自転車駐車場	2002年	253	-	-
計			2,281	417	252

### 3. 具体的な施策



### 《方策にあわせた対策等》

1. 有料駐車場付近の**放置規制区域（2日後撤去）**を**放置禁止区域（即日撤去）**へ見直し、放置自転車等の発生を抑制します。



2. 既存駐車場施設等の修繕を実施し、施設の長寿命化と利用者の安全・安心の確保を図ります。



3. 鍛冶町自転車駐車場は、利用者からわかりづらい位置であり、また駐車場の必要な通路幅が確保できていないため、廃止するとともに鍛冶町通りに必要台数を確保します。

### 《方策①》有料化による適正な利用の誘導と盗難防止の強化

浜松駅周辺の自転車等駐車場を有料化（第一通り駅自転車駐車場を除く）することにより、適正な利用を誘導し、駐車場の収容台数不足の解消を図り、**快適に利用できる駐車場**とします。

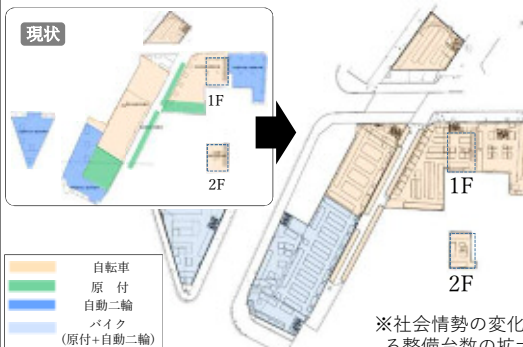


有料化による**ゲートや防犯カメラの設置**により、利用者以外の出入りの抑制や施錠効果を高めることで、盗難防止の強化を図り、**安心して利用できる駐車場**とします。

### 《方策②》自転車収容台数の拡大

有料化後の駐車場利用台数が現況の駐車場収容台数を上回る**駅西・駅東・鍛冶町通りエリア**において、**既設の駐車場の再整備や駐車場の新設により、有料化後の駐車場利用台数以上を確保し**、収容台数不足の解消及び放置自転車等の削減を図ります。

■ 駅西エリア駐車場の再整備イメージ図



■ 鍛冶町通りエリア駐車場の新設イメージ図



【有料化後の駐車場利用台数の算出】

有料化後の駐車場利用台数  
= 現況駐車場利用台数 × 80% + 現況放置自転車<sup>※1</sup>

※1. 出庫しない滞留自転車（駐車場内放置自転車、長期未利用者等）が駐車場内の約2割を占めるため、有料化による滞留自転車の減少（約2割）を考慮。

※社会情勢の変化等により、大幅に利用台数が増加する場合、必要に応じて更なる整備台数の拡大やアクアモールなどへ駐車場を新設するなどの対策を講じます。※詳細な駐車場配置は、今後実施する設計等により決定します。

### 《方策③》マナー啓発活動の推進

放置自転車等によって生じる問題点や駐車マナーをSNS等により広く啓発し、駐車場の適正な利用を促します。



《放置自転車削減の啓発リーフレット》